◉週刊T&Amaster　商品概要　https://www.sn-hoki.co.jp/shop/item/2531.html
☎0120-6021-86　見本誌請求 https://www.lotus21.co.jp/mihonsi.html
立ち読みコーナー　https://www.lotus21.co.jp/ta

特別解説

我が国の上場企業による不正

～第三者委員会報告書を提出した企業の調査分析～

はじめに

我が国の上場企業で大規模な粉飾決算や横領等の不正が発覚すると、弁護士や公認会計士等の外部の専門家を交えた第三者委員会が組成され、フォレンジック調査等が行われた後に、調査結果が報告書として外部に公表される場合が多い。本稿では、2014年4月1日から2023年12月31日までの期間で、親会社（上場企業）や連結子会社等による不適切な会計処理（粉飾決算）、及びその元役員や元従業員らによる不適切な行為（横領、着服等）等について、第三者委員会報告書（第三者を含んだ社内調査報告書等を含む）を外部に公表した企業を題材として、前段では不正の発生原因や類型、特徴点等を全体的に分析するとともに、後段では、2023年1月1日から2023年12月31日までに第三者委員会報告書が公表された個別の不正事例を、1件ずつ内容を要約して紹介することとしたい。

【表1】 調査報告書が公表された年と公表された調査報告書の件数

年	件　数
2014 (4月1日から12月末日まで)	13
2015	27
2016	30
2017	26
2018	29
2019	41
2020	29
2021	24
2022	29
2023	31
合　計	279

調査の対象とした企業

今回調査の対象としたのは、2014年4月1日から2023年12月31日までの期間に、不適切な会計処理（粉飾決算）や元役員、元従業員らによる不適切な行為等について第三者委員会報告書（第三者を含んだ社内調査委員会報告書を含む）を公表した企業（以下、「報告書公表企業」という。）である。

これまでは、年によって多少の増減はあるものの、年間にほぼ30件程度のペースで不適切な会計処理等に関する調査報告書が公表されてきている（**表1**を参照。）。

なお、調査報告書が公表された事例のうち、得意先が要求する性能やスペックを満たしていない製品を偽って納入していた等の、会計処理とは直接関係しないような不適切な事例は、今回の調査の対象からは除いている。

全般的な分析

まず、2014年4月から2023年12月末日まで

最新号を含む見本誌を無料で進呈しております。下記よりご請求下さい
見本誌請求ページへ